



ノーマルフロントフォークディスクブレーキキット

取扱説明書

商品番号 : 06-08-1561
 適応車種 : モンキー、ゴリラ、モンキーBAJA
 フレーム番号: Z50J-1300017 ~ 1510400
 : Z50J-1600008 ~
 : AB27-1000001 ~

- ・この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

～特徴～

パワーアップされたエンジンには強力なストッピングパワーが必要となります。従ってノーマルブレーキでは容量不足となり、より強力なディスクブレーキが必要とされます。しかもノーマルフロントフォーク専用キットの為、ノーマルのフォルムを崩すことなく仕上げる事ができ、ホイールスペーサーを使用する事でノーマルホイールにも対応出来るようにしました。

ご使用前に必ずお読み下さい

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。製品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。

他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

補修部品に付きましては商品番号及び図中の番号にてお申し込み下さい。尚、不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。

当製品を使用してフロントをディスクブレーキに変更するには、下記の弊社製品が必要です。

フロントブレーキマスターシリンダー (06-08-1167)

ステンレスメッシュホース (06-08-201)

取り付けネジサイズ10mmのミラー (各1個入り)

オーバルスライドタイプミラー (06-01-110)

NC31タイプミラー (06-01-111)

角スライドタイプミラー (06-01-112)

MINIミラー (右専用) (06-01-113)

フロントブレーキを油圧ディスクにした場合、フロントマスターシリンダーを取り付ける為、STDスロットルハウジング (ブレーキレバー一体式) を取り外す必要がありますので、弊社製ハイスロットルセット若しくはホンダ純正部品が必要です。

弊社製品

ハイスロットルセット (ケーブル長810mm) (09-02-0221)

ハイスロットルセット (ケーブル長700mm) (09-02-021)

弊社製キャブレターキット用 (KEIHIN PC18キャブレター以外)

FI車の場合、ケーブル無しセット (09-02-0223) をご使用下さい。

ホンダ純正部品

スロットルハウジング (1個) (53168-166-000)

スロットルハウジング (1個) (53167-GE4-000)

パンスクリュウ 5x22 (2個) (93500-05022-0G)

STDキャブレター及び弊社製KEIHIN PC18キャブレター用

フレームNO. Z50J-1300017 ~ 1510400の車両に当製品を取り付ける場合、別途下記部品が必要です。

遠心クラッチ車

コンビネーションスイッチASSY (02-01-015)

マニュアルクラッチ車

クラッチレバー&コンビネーションスイッチASSY (02-01-016)



注意

この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジンおよびマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ・ブレーキフルードは、なるべく皮膚に触れないようにし、作業後は十分手洗いを行ってください。(手荒れの原因となります。)
- ・ブレーキフルードは、塗装面・樹脂部分・ゴム製品類等に付着すると劣化及び損傷させるので作業は十分注意して行って下さい。付着した場合は速やかに水洗いを行ってください。(部品の損傷・劣化の原因となります。)



警告

この表示を無視した取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

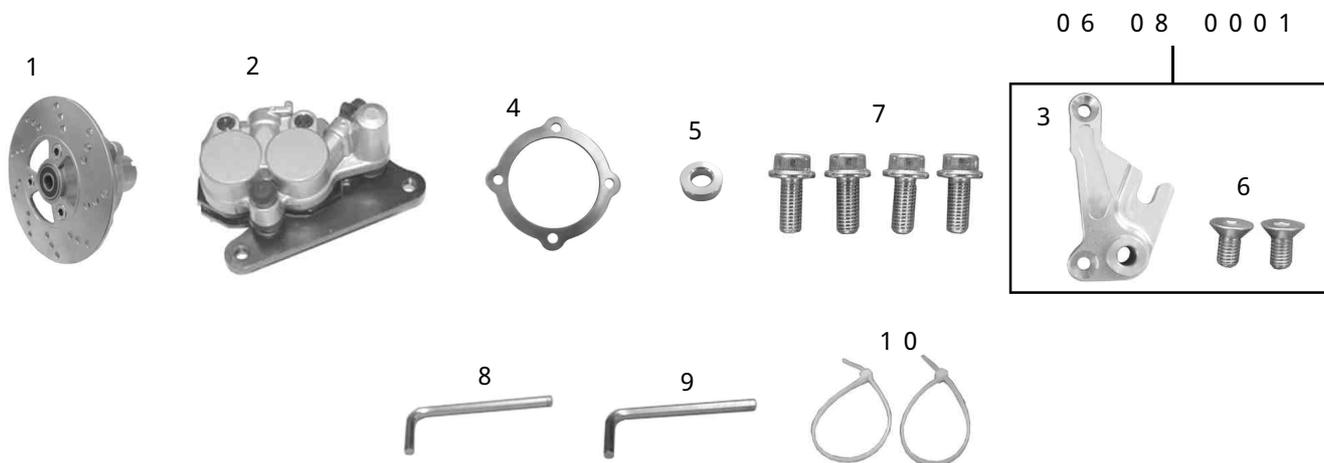
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
- ・製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- ・ブレーキ液は指定のブレーキ液を使用。銘柄の異なるブレーキ液を混用しないで下さい。(トラブルの原因及び化学変化の恐れがあります。)
- ・ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させないで下さい。付着した場合は、ブレーキパッドは交換しブレーキディスクローターは脱脂して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・ブレーキの取り付け作業については、熟練したメカニックに依頼し専用の設備・工具のある工場等で行って下さい。
(事故につながる恐れがあります。)

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

～ 商 品 内 容 ～



番号	部 品 名	数量	リペア品番	入数
1	フロントホイールハブASSY.	1	4 4 5 0 0 1 8 1 T 0 0	1
2	フロントブレーキキャリアASSY.	1	0 6 0 8 1 1 5	1
3	キャリアブラケット	1	0 6 0 8 0 0 0 1	1SET
4	ホイールスペーサー 3mm	1	0 6 0 9 1 3 0 5	1
5	カラー	1	4 4 3 1 1 1 8 1 T 0 0	1
6	フラットヘッドキャップスクリュー M8 X 16	2	0 0 0 0 0 2 3 9	4
7	フランジキャップスクリュー M8 X 20	4	0 0 0 0 0 2 3 8	4
8	Lレンチ 5mm	1		
9	Lレンチ 6mm	1		
10	タイラップ 200mm	2	0 0 0 0 0 1 7 9	10

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。

予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。

～取 り 付 け 要 領～

1. フロントアップスタンド及びメンテナンススタンド等でフロントタイヤが浮き上がる状態にして下さい。
警告：必ず水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。
2. アクスルナットを取り外し、アクスルシャフトを取り外して下さい。この時、フロントブレーキワイヤー及びスピードメーターケーブルも取り外して下さい。



3. フロントホイールからSTDフロントホイールハブを取り外して下さい。



4. フロントホイールのエアバルブ側が、フロントホイールハブASSYのディスク側と逆になる様に、フロントホイールハブASSYをフランジキャップスクリューM8×2.0にて仮締めして下さい。
注意：方向性のあるタイヤをご使用の場合は、タイヤを逆方向に取り付け直し、回転方向を確認して下さい。

エアバルブ



ノーマルホイール使用時
フロントホイールハブASSYとホイールの間にホイールスペーサーを挟み、フランジキャップスクリューM8×2.0にて仮締めして下さい。



ホイール

当社製アルミホイール使用時
ホイールスペーサーは使用せず、アルミホイールキット内のフランジキャップスクリューM8×1.8にて仮締めして下さい。

5. ハンドルからフロントブレーキレバーASSYを取り外し、別売りフロントブレーキマスターシリンダー及びハイスロットルセットを取り付けて下さい。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。

ソケットキャップスクリュー
(フロントブレーキマスターシリンダー取り付け用)
 $T = 10 \sim 14 \text{ N} \cdot \text{m} (1.0 \sim 1.4 \text{ kgf} \cdot \text{m})$
パンスクリュー (ハイスロットルセット取り付け用)
 $T = 4 \text{ N} \cdot \text{m} (0.4 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



6. キャリパーをディスクローターに取り付けます。

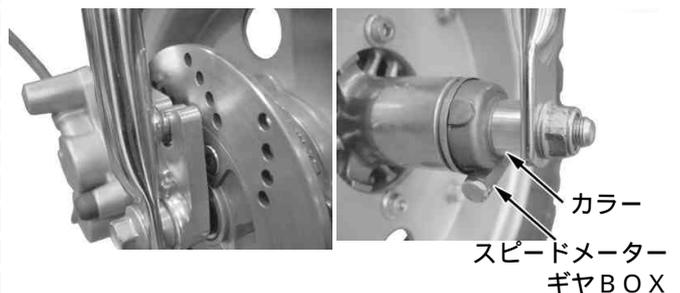


7. キャリパーをフラットヘッドキャップスクリュー(8×1.6)でキャリパーブラケットに取付け、締め付けます。
トルク: $25 \text{ N} \cdot \text{m} (2.5 \text{ kgf} \cdot \text{m})$
ボルトのねじ部分にネジロック剤を塗布して下さい。



8. フロントフォークの凸部にキャリパーブラケットの凹部を合わせ、フロントホイール、スピードメーターギヤBOX、カラーの順で取り付け、アクスルシャフトを通し、アクスルナットを規定トルクで締め付け、固定して下さい。
この時、スピードメーターギヤBOXの凸部とフロントホイールハブCOMPの凹部を合わせて取り付けして下さい。
注意：規定トルクを必ず守って下さい。

アクスルナット
 $T = 40 \sim 50 \text{ N} \cdot \text{m} (4.0 \sim 5.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



カラー
スピードメーター
ギヤBOX

9. ホイールとハブを固定するフランジキャップスクリーを締め付けます。

トルク $25 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($2.5 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)



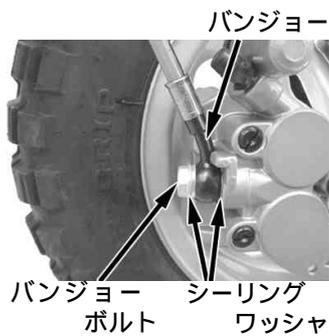
10. 別売りステンレスメッシュホースをキャリアまで取り回し、曲がっているバンジョーを、2枚のシーリングワッシャで挟むようにしてバンジョーボルトにてキャリアに取り付け、固定して下さい。

注意：シーリング部に異物を挟まないよう注意して下さい。

：規定トルクを必ず守って下さい。

バンジョーボルト

$T = 13 \sim 15 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.3 \sim 1.5 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)



バンジョー

バンジョーボルト シーリングワッシャ

11. リバウンドしてもメッシュホースが突っ張らない様に、フロントブレーキマスターシリンダーまで取り回して下さい。

12. フロントブレーキマスターシリンダーにメッシュホースのバンジョーを、2枚のシーリングワッシャで挟むようにしてバンジョーボルトにて取り付け、固定して下さい。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。

バンジョーボルト

$T = 13 \sim 15 \text{ N} \cdot \text{m}$ ($1.3 \sim 1.5 \text{ kgf} \cdot \text{m}$)



バンジョー
シーリングワッシャ
バンジョーボルト

13. 他の部分とブレーキホースが干渉しない様タイラップで固定し余ったタイラップはニッパー等で切り取ります。

注意：バウンド、リバウンド部にホースが突っ張らない様に固定して下さい。

14. フロントブレーキマスターシリンダーのストップスイッチサブハーネス及び、スピードメーターケーブルを接続して下さい。

15. 各部のボルト及びスクリーをもう一度規定トルクにて増し締めして下さい。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。

16. フロントブレーキマスターシリンダーよりブレーキフルードを注入し、エア抜きを行って下さい。

ブレーキのエア抜き容量は、別紙を参考にして下さい。

～純正スロットルハウジングの取り付け～

1. 下側スロットルハウジングには、突起があります。取り付ける場合は突起部分を削り取るか、ハンドルパイプに穴を開けて下さい。

2. スロットルを取り付けます。
グリップCOMP、スロットルケーブルCOMP.はSTD.を使用します。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川**

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

ブレーキのエア抜き要領

⚠ 注意

ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。
 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。
 シーリングワッシャは再使用しない事。
 ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。
 ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。
 規定トルクは必ず守る事。
 ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

マスターシリンダーASSYの2本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。



キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。



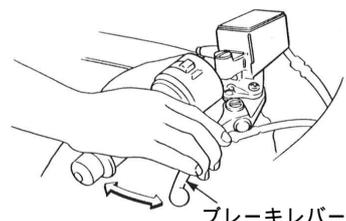
マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 ブレーキオイル DOT4.

ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。
 オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。



⚠ 警告

ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

ブレーキレバーを握った状態のままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。
 ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。



ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付けます。

ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで、この操作を繰り返します。

時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

エアーの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。



⚠ 注意: 必ず規定トルクを守る事。

$T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。

⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。
 ブレーキオイル DOT4.

